

平成31年度

北海道大学大学院文学院

博士後期課程

学 生 募 集 要 項

平成30年8月

平成31年度北海道大学大学院文学院 博士後期課程学生募集要項

北海道大学大学院文学院には、人文学、人間科学の2専攻があり、それぞれ下記の講座及び研究室から構成されている。募集は、専攻を単位として、志望する研究室ごとに試験が実施される。

専 攻	講 座	研 究 室
人文学専攻	哲学宗教学	哲学倫理学
		宗教学インド哲学
	歴史学	日本史学
		東洋史学
		西洋史学
		考古学
	文化多様性論	文化人類学
		芸術学
		博物館学
	表現文化論	欧米文学
		日本古典文化論
		中国文化論
		映像・現代文化論
言語科学	言語科学	
スラブ・ユーラシア学	スラブ・ユーラシア学	
アイヌ・先住民学	アイヌ・先住民学	
人間科学専攻	心理学	心理学
	行動科学	行動科学
	社会学	社会学
	地域科学	地域科学

目 次

教育研究上の目的及びアドミッションポリシー	1
《一般入試》	3
《社会人特別入試》	7
各入試共通	11
<ul style="list-style-type: none"> ・願書記入上の注意 ・出願書類の請求 ・入学手続 ・長期履修制度について ・個人情報の取り扱いについて ・入学試験に関する問い合わせ先 ・各種情報開示について 	
別記1《参考》	12
<ul style="list-style-type: none"> ・修士課程授業科目表 ・各研究室における専門分野 	
別記2	16
<ul style="list-style-type: none"> ・出願資格審査 	

教育研究上の目的及びアドミッションポリシー

1. 本学院の教育研究上の目的

本学院は、人文科学の諸領域において高度の専門的な教育研究を行うことにより、「ことば」に対する感受性及び論理的な思考力、総合的な判断力等を有する人材の育成を図るとともに、国際的に卓越した創造的な研究者を養成し、及びその資質の向上を図ることを目的とする。

(1) 人文学専攻

人文学専攻は、哲学宗教学、歴史学、文化多様性論、スラブ・ユーラシア学、アイヌ・先住民学、表現文化論、言語科学の7講座からなる。哲学宗教学講座には哲学倫理学、宗教学インド哲学の各研究室が、歴史学講座には日本史学、東洋史学、西洋史学、考古学の各研究室が、文化多様性論講座には文化人類学、芸術学、博物館学の各研究室が、表現文化論講座には欧米文学、日本古典文化論、中国文化論、映像・現代文化論の各研究室がそれぞれ含まれ、多岐にわたる学問領域を対象としている。

哲学宗教学講座は、経済と政治のグローバル化が進展する中で、価値観の対立と衝突も生まれている現代社会において、人間の在り方について根源的な問を発しつつ、その間に果敢に答えようとする深い学識を培う分野である。歴史学講座、文化多様性論講座、スラブ・ユーラシア学講座、アイヌ・先住民学講座は、他者と共感する真摯な姿勢と本質を見抜き相対化する批判精神を必要とする、広義の異文化を対象とする分野であり、古典を含む文献読解の方法、ヨーロッパ、アジアおよび北方地域を含む多様な言語の修得、現地調査を含むデータ収集とその処理・分析方法、物質・精神にまたがる異文化へのアプローチ、地域や民族がかかえる現代的課題への視野、等について学際的・総合的な教育研究を行う。表現文化論講座は、多様な言語で記された文学・思想を対象とする日本文学、英米・英語圏文学、ドイツ文学、フランス文学、ロシア文学、西洋古典学、中国文学、中国語学、中国思想、さらには映像論、批評理論、文化批評を対象とする視覚メディア文化や言語表現文化の教育研究が含まれる。言語科学講座は、英語学、ドイツ語学・ゲルマン語学、フランス語学・ロマンス語学、ロシア語学、国語学、日本語学など個別の言語を対象とする分野と言語理論を扱う言語学からなる。

本専攻においては、文献資料や先行研究から得られる知識はもとより、ときにはみずからフィールドへと出向いて異文化を体感する行動力も求められる。そのような自己と他者との対話を通して、文化の多様性と共通性を学び、過去と現在、中心と周縁を有機的に結びつけて世界の総体を捉え直すことのできる、バランスのとれた人材の育成を目指している。

本専攻の目的は、上記の多様な領域における個別的教育研究、並びに諸分野を複合的総合的に横断する領域の教育研究を通して専門的学識と幅広い教養を合わせ持つ学生を育成し、中等・高等教育機関、博物館・資料館、国際交流機関やIT、マスメディア等、官公庁や企業のさまざまな分野で活躍できる人材を社会に送り出すとともに、創造性豊かな優秀な研究者の育成を目指している。また海外の研究者を招いて講演会、研究会等を積極的に行い、学生に海外の研究者と接する機会を提供するとともに、学生の海外派遣を含む研究教育の国際化に取り組み、国際的な視点をも身につけた人材の育成を目指している。

(2) 人間科学専攻

人間科学専攻は、心理学、行動科学、社会学、地域科学の4講座からなる。各講座には同じ名称の研究室がおかれ、1講座1研究室の体制となっている。

本専攻は心理学講座(認知心理学、認知科学、実験心理学)、行動科学講座(社会心理学、社会環境と行動、文化と心理など行動科学全般)、社会学講座(社会学理論、社会構造と社会変動、社会集団)、地域科学講座(地域社会学、人文地理学、社会生態学)からなり、実験、コンピュータ・シミュレーション、社会調査、聞き取り調査、フィールドワークなど多様な方法論を用い、人間と社会の理解に向けた科学的・実証的なアプローチを行っている。

本専攻の目的は、まず、学生がそれぞれのディシプリンを修得した上で、専攻に共通の授業を通して徹視的および巨視的な観点を獲得すること、また国際学術誌への投稿、国際学会での発表、国内外の研究交流等を通して、大学や様々な研究機関において国際的水準に立って研究できる研究者を育成することである。さらに本専攻は、官公庁、企業等に就職し、教育、医療、IT、マスメディア等の幅広い領域で活躍できる高度専門家の養成を目指している。

2. アドミッションポリシー

(1) 人文学専攻

人文学専攻は、思想、文化、歴史、言語、文学、地域研究等を教育研究の対象とし、これらの個別領域、さらにそれらを横断する領域に関して、深い専門知識並びに高い問題解決能力を身につけ、その成果を社会における様々な分野で生かすことのできる学生を求める。

博士後期課程

以下に示す目標を達成する意志をもつ学生を求める。

- ・人文学の諸領域に関する高度な専門知識をもとに研究を進め、広汎で深い知識を修得するとともに、当該領域の問題に積極的に取り組み、各分野の学界に貢献できる。
- ・高度なコミュニケーション能力によって国際的な交流を深めつつ、各専門分野において高い独創性と指導力を発揮できる。
- ・専門とする研究成果を、社会に分かりやすく説明し還元するとともに、さらなる知の創造活動へとつなぐことができる。

以上の観点にもとづき、入学試験においては、各専門分野における高度な研究を進めるために不可欠な専門的知識や分析能力、コミュニケーション能力を備えているかを問う。

(2) 人間科学専攻

人間科学専攻は、個体としての人間やそれによって構成される集団、社会、地域を教育研究の対象とし、これらの諸要素間の相互関係を総合的に解明するため深い専門知識並びに高い問題解決能力を身につけ、その成果を社会における様々な分野で生かすことのできる学生を求める。

博士後期課程

以下に示す目標を達成する意志をもつ学生を求める。

- ・人間個人や集団について人文・社会科学的立場から、実証的なアプローチによって研究を進め、広汎で深い知識を修得するとともに、優れた調査能力・分析能力・考察力等を身につけ、各分野の学界に貢献できる。
- ・高度なコミュニケーション能力によって国際的な交流を深めつつ、各専門分野において高い独創性と指導力を発揮できる。
- ・専門とする研究成果を、社会に分かりやすく説明し還元するとともに、さらなる知の創造活動へとつなぐことができる。

以上の観点に基づき、入学試験においては、各専門分野における高度な研究を進めるために不可欠な専門知識や分析能力、コミュニケーション能力を備えているかを問う。

《一般入試》

1. 専攻及び募集人員

人文学専攻 28名
人間科学専攻 7名 } 合計 35名

2. 出願資格

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者又は平成 31 年3月までに授与見込みの者
- (2) 外国の大学において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を有する者又は平成 31 年3月までに授与見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は平成 31 年3月までに授与見込みの者(「3. 出願資格審査」参照)
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は平成 31 年3月までに授与見込みの者(「3. 出願資格審査」参照)
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和 51 年法律第 72 号)第1条第2項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了した者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者(「3. 出願資格審査」参照)
- (7) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)。(別記2, 16頁参照)
 - ※大学を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 本学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成7年4月1日以前に出生したもの(別記2, 16 頁参照)
 - ※短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生や外国大学日本分校等修了者など修士の学位を有していない者で、上記(7)に該当しない者が対象

3. 出願資格審査

- 「2. 出願資格」の(3), (4), (6)により出願しようとする者は、平成 30 年 11 月 16 日(金)までに本学院に申し出ること。
 「2. 出願資格」の(7), (8)により出願しようとする者は、別記2(16 頁)により必要書類を提出すること。

4. 出願書類

出願書類等	備考
<input type="checkbox"/> 入学願書 <input type="checkbox"/> 受験票・写真票 <input type="checkbox"/> 住所シール <small>(本要項に綴じ込みの用紙)</small>	入学願書及び受験票・写真票に、応募する専攻名と志望する研究室名を記入すること。研究室名については、別記1(12～15頁)を参考にして記入すること。
<input type="checkbox"/> 成績証明書	出身大学(研究科)長の発行するもの。
<input type="checkbox"/> 修了(見込)証明書	出身大学(研究科)長の発行するもの。本研究科出身者は提出不要。
<input type="checkbox"/> 修士学位論文(写)	修士学位論文の写し、又はそれに代わる学術論文の写しを提出すること。なお、その他に参考となる論文があれば添えて提出してもよい。
<input type="checkbox"/> 入学後の研究計画書	任意の様式で作成のうえ提出すること(4,000字以内)。
<input type="checkbox"/> 受験票送付用封筒 <small>(本要項に綴じ込みの封筒)</small>	本学院所定の封筒に372円分の切手を貼付し、住所、氏名、郵便番号を記載のこと。
<input type="checkbox"/> 検定料 30,000円 <small>(本要項に綴じ込みの払込書)</small> ※既納の検定料は、以下の場合を除き返還できない。 ① 出願しなかった場合 ② 誤って二重に払い込んだ場合 ③ 徴収を必要としない者が誤って払い込んだ場合 【返還方法の問い合わせ先】 大学院文学研究科・文学部 教務担当 (011)706-3005,3004	本学大学院の修士課程(博士前期課程)を修了見込みの者及び国費外国人留学生は納入不要 ① 本学所定の払込書の※欄に、志願者本人の住所・氏名(漢字、フリガナ)、電話番号を黒のボールペンで正確に記入して、必ず銀行(ゆうちょ銀行を含む。以下同じ。)の窓口で振り込むこと。ATM(現金自動預払機)は使用不可。 ② 「振込金(兼手数料)受領書」及び「検定料受付証明書」を銀行の窓口から受け取る際には、必ず「受付局日附印」を確認すること。「受付局日附印」が押印されていないと願書は受理できない。 ③ 「受付局日附印」が押印された「検定料受付証明書」を検定料受付証明書貼付台紙の所定の欄に貼り付けて提出すること。 ④ 「振込金(兼手数料)受領書」及び「検定料受付証明書」は、無くさないよう注意すること。

一般入試

外国人留学生の場合は、以下の書類を併せて提出すること。

出願書類等	備考
<input type="checkbox"/> 推薦書	出身大学の指導教員が作成したもの。 本研究科出身者(研究生を含む。)は、提出不要。
<input type="checkbox"/> 外国籍であることを証明する書類	パスポート(在留資格の確認できる頁)の写し又は在留カードの写し等。
<input type="checkbox"/> 修学に必要な経済能力を証明する書類	本人名義の通帳のコピー等 国費外国人留学生は提出不要。
<input type="checkbox"/> 国費外国人留学生証明書	国費外国人留学生であることの証明(該当者のみ提出)。

5. 出願期間及び提出先

(1) 出願期間

平成 31 年1月 11 日(金)から平成 31 年1月 17 日(木)まで。

持参の場合:受付時間は午前9時から午後5時まで。

郵送の場合:この期間内に必着のこと。

(2) 提出先

北海道大学大学院文学研究科・文学部教務担当(〒060-0810 札幌市北区北 10 条西7丁目)

出願書類を郵送する場合には、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きし、書留郵便とすること。

6. 入学試験期日及び場所

(1) 試験期日 平成 31 年2月 12 日(火) ※開始時刻は、受験票送付時に通知する。

(2) 場 所 北海道大学大学院文学研究科(札幌市北区北 10 条西7丁目)

7. 選抜方法

研究室ごとに行う口述試験等の結果及び出願書類を総合して合格者を決定する。

ただし、外国人志願者の選考は、特別の選考によることがあるので、本学院に照会すること。

口述試験等:口述試験は、提出された修士学位論文(写)・研究計画書等に基づいて専門知識・研究計画等について試問する。このほかに研究室によっては筆記試験・文献読解等を課することがある(別記《一般入試》, 5頁参照)。

8. 合格者発表

平成 31 年2月 19 日(火) 午後4時

文学研究科公用掲示板に掲示するとともに、受験者宛、合否を郵送により通知する。電話等による問い合わせには一切応じない。

なお、通知の到着は、4～5日後になることがある。

別記《一般入試》

人文学専攻

研究室名	口述試験等
哲学倫理学	修士学位論文・研究計画書に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する(外国語文献読解を含むことがある)。
宗教学インド哲学	修士学位論文・研究計画書に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する(外国語文献読解を含むことがある)。
日本史学	提出された論文と研究計画書等に基づいて、専門知識及びこれまでの研究、入学後の研究計画について試問する(必要に応じて筆記試験を行うことがある)。
東洋史学	東洋史学に関する専門知識及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。
西洋史学	提出された論文と研究計画書等に基づいて、専門知識及びこれまでの研究、入学後の研究計画について試問する(外国語等の筆記試験を含むことがある)。
考古学	提出された論文に基づいて、専門知識及び入学後の研究計画について試問する。
文化人類学	口述試験(修士学位論文・研究計画書等に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する。なお、専門に関する外国語の試験を含むことがある。)
芸術学	修士学位論文・研究計画書に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する(外国語文献読解を含むことがある)。
博物館学	修士学位論文・研究計画書に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する(外国語文献読解を含むことがある)。
欧米文学	修士学位論文・研究計画書等に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する(文献読解を含むことがある)。
日本古典文化論	口述試験(提出された論文・研究計画書等に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する)
中国文化論	修士学位論文・研究計画書等に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する(文献読解を含むことがある)。
映像・現代文化論	口述試験
言語科学	修士学位論文・研究計画書等に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する(文献読解を含むことがある)。
スラブ・ユーラシア学	・外国語文献読解: 英語2題, ロシア語2題の中から任意の2題を選択し, 日本語訳を行うか, 英語のロシア語訳もしくはロシア語の英語訳を行う。辞書持込み可(電子辞書は不可)。 ・口述試験
アイヌ・先住民学	・修士論文・研究計画書に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する(筆記試験を含むことがある)。

人間科学専攻

研究室名	口述試験等
心理学	研究分野に関する専門知識, 研究能力及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。英語文献読解等を含む。
行動科学	研究分野に関する専門知識, 研究能力及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。英語文献読解等を含む。
社会学	研究分野に関する専門知識, 研究能力及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。英語文献読解等を含む。
地域科学	研究分野に関する専門知識, 研究能力及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。英語文献読解等を含む。

《社会人特別入試》

1. 専攻及び募集人員

人文学専攻	若干名
人間科学専攻	若干名

2. 出願資格

2-1 下記の各号のいずれかに該当する者で、修士の学位又はこれに相当する資格を得た後、通算2年以上の社会経験(研究生及び大学院学生としての期間は含まない。)を有する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国の大学において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を有する者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者(「3. 出願資格審査」参照)
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者(「3. 出願資格審査」参照)
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和 51 年法律第 72 号)第1条第2項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了した者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者(「3. 出願資格審査」参照)
- (7) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第 118 号参照)(別記2, 16 頁参照)

※大学を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

2-2 下記の各号のいずれかに該当する者で、在職者(常勤又はそれに準ずるものに限る。)として2年以上の社会経験を有する者

- (8) 本学大学院の修士課程に社会人特別入試により入学し、在職のまま修了した者又は平成 31 年3月までに修了見込みの者で引き続き研究を志望している者
- (9) 他大学大学院の修士課程を在職のまま修了した者又は平成 31 年3月までに修了見込みの者で引き続き同一分野の研究を志望している者
- (10) 本学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成7年4月1日以前に出生した者(別記2, 16 頁参照)

※短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生や外国大学日本分校等修了者など修士の学位を有していない者で、上記(7)に該当しない者が対象

3. 出願資格審査

- 「2.出願資格」の(3), (4), (6)により出願しようとする者は、平成 30 年 11 月 16 日(金)までに本学院に申し出ること。
 「2.出願資格」の(7), (10)により出願しようとする者は、別記2(16 頁)により必要書類を提出すること。

4. 出願書類

出願書類等	備 考
<input type="checkbox"/> 入学願書	入学願書及び受験票・写真票に、応募する専攻名と志望する研究室名を記入すること。研究室名については、別記1(12～15頁)を参考にして記入すること。
<input type="checkbox"/> 受験票・写真票	
<input type="checkbox"/> 住所シール (本要項に綴じ込みの用紙)	
<input type="checkbox"/> 成績証明書	出身大学(研究科)長の発行するもの。
<input type="checkbox"/> 修了(見込)証明書	出身大学(研究科)長の発行するもの。本研究科出身者は提出不要。
<input type="checkbox"/> 在職証明書又はこれに代わるもの	
<input type="checkbox"/> 研究業績一覧	
<input type="checkbox"/> 研究分野の論文	志望分野に関連する論文等の写3点以内(修士学位論文を含めてもよい)。
<input type="checkbox"/> 入学後の研究計画書	任意の様式で作成のうえ提出すること(4,000字以内)。

<input type="checkbox"/> 受験票送付用封筒 <small>(本要項に綴じ込みの封筒)</small>	本学院所定の封筒に372円分の切手を貼付し、住所、氏名、郵便番号を記載のこと。
<input type="checkbox"/> 検定料 30,000円 <small>(本要項に綴じ込みの払込書)</small> ※既納の検定料は、以下の場合を除き返還できない。 ①出願しなかった場合 ②誤って二重に払い込んだ場合 ③徴収を必要としない者が誤って払い込んだ場合 【返還方法の問い合わせ先】 大学院文学研究科・文学部 教務担当 (011)706-3005, 3004	本学大学院の修士課程(博士前期課程)を修了見込みの者は納入不要 ①本学所定の払込書の※欄に、志願者本人の住所・氏名(漢字、フリガナ)、電話番号を黒のボールペンで正確に記入して、必ず銀行(ゆうちょ銀行を含む。以下同じ。)の窓口で振り込むこと。ATM(現金自動預払機)は使用不可 ②「振込金(兼手数料)受領書」及び「検定料受付証明書」を銀行の窓口から受け取る際には、必ず「受付局日附印」を確認すること。「受付局日附印」が押印されていないと願書は受理できない。 ③「受付局日附印」が押印された「検定料受付証明書」を検定料受付証明書貼付台紙の所定の欄に貼り付けて提出すること。 ④「振込金(兼手数料)受領書」及び「検定料受付証明書」は、大切なものなので、無くさないよう注意すること。

5. 出願期間及び提出先

(1) 出願期間

平成31年1月11日(金)から平成31年1月17日(木)まで。

持参の場合:受付時間は午前9時から午後5時まで。

郵送の場合:この期間内に必着のこと。

(2) 提出先

北海道大学大学院文学研究科・文学部教務担当(〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目)

出願書類を郵送する場合には、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きし、書留郵便とすること。

6. 入学試験期日及び場所

(1) 試験期日 平成31年2月12日(火) ※開始時刻は、受験票送付時に通知する。

(2) 場 所 北海道大学大学院文学研究科(札幌市北区北10条西7丁目)

7. 選抜方法

研究室ごとに行う口述試験等の結果及び出願書類を総合して合格者を決定する。

口述試験は、提出された研究分野の論文・研究計画書等その他に基づいて専門知識・研究計画等について試問する。このほかに研究室によっては筆記試験・文献読解等を課すことがある(別記《社会人特別入試》, 9頁参照)。

8. 合格者発表

平成31年2月19日(火) 午後4時

文学研究科公用掲示板に掲示するとともに、受験者宛、合否を郵送により通知する。電話等による問い合わせには、一切応じない。なお、通知の到着は、4~5日後になることがある。

9. 教育方法の特例(大学院設置基準第14条による特例)について

本学院では、通常、平日の1講時~5講時(8:45~18:00)に授業を行うことになっているが、有職者である学生に限り、その所属先における勤務条件、通学に要する時間等について、教員が考慮した上で、通常の授業時間帯以外の特定の時間又は時期に授業を設けることが許されている。この特例による授業の実施を希望する者は、合格発表後、指導を希望する教員に申し出るとともに、今後の研究・学習計画等について指導を受けること。

別記《社会人特別入試》

人文学専攻

研究室名	口述試験等
哲学倫理学	修士学位論文・研究計画書に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する(外国語文献読解を含むことがある)。
宗教学インド哲学	修士学位論文・研究計画書に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する(外国語文献読解を含むことがある)。
日本史学	提出された論文と研究計画書等に基づいて、専門知識及びこれまでの研究、入学後の研究計画について試問する(必要に応じて筆記試験を行うことがある)。
東洋史学	東洋史学に関する専門知識及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。
西洋史学	提出された論文と研究計画書等に基づいて、専門知識及びこれまでの研究、入学後の研究計画について試問する(外国語等の筆記試験を含むことがある)。
考古学	提出された論文に基づいて、専門知識及び入学後の研究計画について試問する。
文化人類学	口述試験(修士学位論文・研究計画書等に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する。なお、専門に関する外国語の試験を含むことがある。)
芸術学	修士学位論文・研究計画書に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する(外国語文献読解を含むことがある)。
博物館学	修士学位論文・研究計画書に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する(外国語文献読解を含むことがある)。
欧米文学	論文・研究計画書等に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する(文献読解を含むことがある)。
日本古典文化論	口述試験(提出された論文・研究計画書等に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する)
中国文化論	論文・研究計画書等に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する(文献読解を含むことがある)。
映像・現代文化論	口述試験
言語科学	論文・研究計画書等に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する(文献読解を含むことがある)。
スラブ・ユーラシア学	・外国語文献読解: 英語2題, ロシア語2題の中から任意の2題を選択し, 日本語訳を行うか, 英語のロシア語訳もしくはロシア語の英語訳を行う。辞書持込み可(電子辞書は不可)。 ・口述試験
アイヌ・先住民学	・修士論文・研究計画書に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する(筆記試験を含むことがある)。

人間科学専攻

研究室名	口述試験等
心理学	研究分野に関する専門知識, 研究能力及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。英語文献読解等を含む。
行動科学	研究分野に関する専門知識, 研究能力及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。英語文献読解等を含む。
社会学	研究分野に関する専門知識, 研究能力及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。英語文献読解等を含む。
地域科学	研究分野に関する専門知識, 研究能力及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。英語文献読解等を含む。

一般入試, 社会人特別入試共通

・願書記入上の注意

入学願書の履歴事項欄には, 高等学校卒業以降の履歴を全て記載すること。入学後, 履歴中に重大な虚偽のあることが判明した場合は, 入学を取り消すことがあるので注意すること。

・出願書類の請求

募集要項(出願書類)は, 本研究科ホームページから請求すること。

北海道大学大学院文学研究科 <http://www.let.hokudai.ac.jp/>

・入学手続

(1) 入学手続期間 3月中旬(入学手続の詳細は, 合格通知に同封する。)

(2) 入学料 282,000 円

本学大学院の修士課程(博士前期課程)を修了し, 引き続き博士後期課程に進学する者からは, 徴収しない。

(3) 授業料 前期分 267,900 円(年額 535,800 円)

(注1) 上記の納付金は予定額であり, 今後改定される場合がある。

(注2) 在学中に授業料改定が行われた場合には, 改定時から新授業料が適用される。

・長期履修制度について

この制度は, 主として時間的制約の多い社会人の修学に配慮したもので, 標準の修業年限より長い期間をかけて計画的な履修を行うためのものである。

これに申請できるのは, 官公庁・企業等に在職している者(給与の支給を受け, 職務を免除されている者を除く。), 自ら事業を行っている者等フルタイムの有職者, 育児及び親族の介護等にたずさわっている者, 又はそれらに準じる仕事や負担によって修学に重大な影響がある者に限定される。

希望者は出願時(平成 31 年1月 11 日(金)から1月 17 日(木))に申請を行い, 本学院における審査を経て, 2月下旬に適用が決定される。入学時に長期履修が認められた者の授業料は, 概ね標準修業年限に納付すべき授業料の額(年額×3年)を長期履修が認められた年数で除した額を年額として決定する。

なお, 申請書類には, 長期履修を希望する理由が確認できる書類等を添付する必要があるため, 申請者は, 大学院文学研究科・文学部教務担当にて事前に申請書類を受領のうえ, 申請に必要な書類を出願時まで揃えておくこと。

長期履修申請書の郵送を希望する場合は, 返信用封筒(角形2号)に 120 円分の切手を貼付け, 住所, 氏名, 郵便番号を記載のうえ, 封筒のおもてに「長期履修申請書請求」と明記して請求すること。

【長期履修申請書 請求先】北海道大学文学部教務担当

〒060-0810 札幌市北区北 10 条西7丁目

・個人情報の取り扱いについて

(1) 本学が保有する個人情報は, 「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」を遵守するとともに, 「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき, 保護に万全を期している。

(2) 出願書類に記載されている氏名, 住所その他の個人情報については, ①入学者選抜, ②合格者発表, ③入学手続, ④入学者選抜方法等における調査・研究, 及び⑤これらに付随する業務を行うために利用する。

(3) 合格者のみ, (2)の個人情報を入学後の①教務関係(学籍, 修学指導等), ②学生支援関係(健康管理, 奨学金申請等), ③授業料等に関する業務を行うために利用する。

(4) (3)の個人情報のうち, 氏名及び住所に限って, 北大フロンティア基金及び本学関連団体である北海道大学体育会からの連絡を行うために利用する場合がある。

・入学試験に関する問い合わせ先

北海道大学大学院文学研究科・文学部教務担当

TEL (011) 706-3005, 3004(月～金 8:30～17:00/祝日を除く。)

※問い合わせは, やむを得ない場合を除き志願者本人が行うこと。

・各種情報開示について

翌年度5月に志願者数, 合格者数, 入学者数の情報をホームページ上で公開する。

別記1 (志望専攻, 研究室決定の参考)

・修士課程授業科目表

人文学専攻
(哲学倫理学研究室提供科目) 哲学 特殊 講義 倫理学 特殊 講義 論理学 特別 演習 古代中世哲学 特別 演習 近現代哲学 特別 演習 倫理学 特別 演習
(宗教学インド哲学研究室提供科目) インド哲学仏教学 特殊 講義 宗教学 特殊 講義 インド哲学仏教学 特別 演習 宗教学 特別 演習
(日本史学研究室提供科目) 日本史学 特殊 講義 日本古代史 特別 演習 日本中世近世史 特別 演習 日本近現代史 特別 演習
(東洋史学研究室提供科目) 東洋史学 特殊 講義 東洋史学 特別 演習
(西洋史学研究室提供科目) 西洋史学 特殊 講義 西洋史学 特別 演習
(考古学研究室提供科目) 考古学 特殊 講義 考古学 特別 演習 北方考古学 特別 演習 考古科学 特別 演習 環境考古学 特別 演習 考古学 特別 実習
(文化人類学研究室提供科目) 文化人類学 特殊 講義 文化人類学 特別 演習
(芸術学研究室提供科目) 芸術学 特殊 講義 芸術学 特別 演習
(博物館学研究室提供科目) 博物館・文化財研究 特殊 講義 博物館・文化財研究 特別 演習

人文学専攻
(欧米文学研究室提供科目) 英米文学 特殊 講義 西洋文学 特殊 講義 英米文学 特別 演習 I 英米文学 特別 演習 II 英米文学 特別 演習 III 西洋文学 特別 演習 言語文化論 特別 演習
(日本古典文化論研究室提供科目) 日本古典文化論 特殊 講義 日本古典文化論 特別 演習 文学(国語・国文) 特別 演習
(中国文化論研究室提供科目) 中国文化論 特殊 講義 中国思想 特殊 講義 中国語学 特殊 講義 中国文学 特殊 講義 中国思想 特別 演習 中国語学 特別 演習 中国文学 特別 演習
(映像・現代文化論研究室提供科目) 映像表象文化論 特殊 講義 現代表象文化論 特殊 講義 日本現代文化論 特殊 講義 映像表象文化論 特別 演習 現代表象文化論 特別 演習 日本現代文化論 特別 演習
(言語科学研究室提供科目) 言語学 特殊 講義 英語学 特殊 講義 西洋言語学 特殊 講義 日本語学 特殊 講義 言語学 特別 演習 英語学 特別 演習 西洋言語学 特別 演習 日本語学 特別 演習 言語分析論 特別 演習
(スラブ・ユーラシア学研究室提供科目) スラブ・ユーラシア研究 特殊 講義 スラブ・ユーラシア総合研究 特殊 講義 スラブ・ユーラシア総合研究 特別 演習 スラブ・ユーラシア文化研究 特別 演習 スラブ・ユーラシア社会研究 特別 演習 スラブ・ユーラシア相関研究 特別 演習
(アイヌ・先住民学研究室提供科目) アイヌ・先住民学 特殊 講義 アイヌ・先住民学総合 特殊 講義 アイヌ・先住民学 特別 演習 アイヌ・先住民学海外 特別 演習

人間科学専攻
(心理学研究室提供科目) 心理学 特殊 講義 認知理論 特別 演習 行動理論 特別 演習 知覚情報論 特別 演習 表象構造論 特別 演習 知識構造論 特別 演習 思考過程論 特別 演習 学習過程論 特別 演習
(行動科学研究室提供科目) 行動科学 特殊 講義 行動科学 特別 演習 行動実験調査法 特別 演習 計量行動学 特別 演習 数理行動学 特別 演習 社会心理学 特別 演習 集団力学 特別 演習
(社会学研究室提供科目) 社会学 特殊 講義 社会調査法 特別 演習 社会学理論 特別 演習 社会集団論 特別 演習 社会構造論 特別 演習 社会変動論 特別 演習
(地域科学研究室提供科目) 地域科学 特殊 講義 地域分析法 特別 演習 地域社会学 特別 演習 開発社会学 特別 演習 地域環境学 特別 演習 社会生態学 特別 演習 人文地理学 特別 演習 経済地理学 特別 演習 地誌学 特別 演習 地域学 特別 演習 地域調査 特別 演習 地域科学 特別 演習

人文学専攻

講座	研究室	教員	専門分野
哲学宗教学	哲学倫理学	教授 藏田 伸雄 教授 田口 茂 教授 千葉 恵 准教授 近藤 智彦 准教授 佐野 勝彦 准教授 村松 正隆 助教 野村 恭史	哲学・哲学史, 倫理学・応用倫理学, 論理学, 社会思想史
	宗教学インド哲学	教授 佐々木 啓 教授 細田 典明 准教授 林寺 正俊 准教授 宮嶋 俊一	宗教学, インド哲学, 仏教学
歴史学	日本史学	教授 権 錫永 教授 白木沢 旭兎 教授 谷本 晃久 准教授 小倉 真紀子 准教授 川口 暁弘 准教授 橋本 雄 助教 井上 敬介	日本史学
	東洋史学	教授 太田 敬子 教授 吉開 将人 准教授 佐藤 健太郎	東洋史学
	西洋史学	教授 砂田 徹 教授 長谷川 貴彦 教授 村田 勝幸 教授 山本 文彦 准教授 松嶋 明男	西洋史学
	考古学	教授 小杉 康 准教授 高瀬 克範 講師 江田 真毅 助教 高倉 純	考古学, 物質文化論, 植物考古学, 動物考古学, 実験考古学, 文化財科学
	文化人類学	教授 小田 博志	文化人類学
文化多様性論	芸術学	教授 北村 清彦 教授 谷古宇 尚 准教授 浅沼 敬子	美学・芸術学, 西洋美術史, 現代美術史
	博物館学	教授 佐々木 亨 准教授 鈴木 幸人	博物館学(博物館人類学を含む), 文化財学, 博物誌, 日本美術史

人文学専攻

講 座	研 究 室	教 員	専 門 分 野
表現文化論	欧米文学	教授 大西 郁夫 教授 瀬名波 栄潤 教授 竹内 康浩 准教授 竹内 修一 准教授 戸田 聡 特任准教授 グリュエネヴァルト・マティアス 助教 宮下 弥生	英米・英語圏文学, フランス文学, ロシア文学, 西洋古典学
	日本古典文化論	教授 後藤 康文 教授 富田 康之 准教授 金沢 英之 准教授 野本 東生	日本古典文学, 日本古典文化
	中国文化論	教授 近藤 浩之 教授 武田 雅哉 教授 弥 和順	中国思想, 中国語学, 中国文学
	映像・現代文化論	教授 応 雄 教授 押野 武志 教授 中村 三春 准教授 阿部 嘉昭 准教授 水溜 真由美	映像論, 表象文化論, 日本文学(近代・現代), 日本文化(近代・現代), 日本思想(近代・現代)
言語科学	言語科学	教授 清水 誠 教授 野村 益寛 教授 藤田 健 教授 池田 証壽 教授 加藤 重広 教授 佐藤 知己 准教授 李 連珠 助教 藤本 純子	英語学, ドイツ語学・ゲルマン語学, フランス語学・ロマンス語学, 言語学, 国語学, 日本語学
スラブ・ユーラシア学	スラブ・ユーラシア学	教授 岩下 明裕 教授 宇山 智彦 教授 ウルフ・テビッド 教授 仙石 学 教授 田畑 伸一郎 教授 長縄 宣博 教授 野町 素己 准教授 安達 大輔	ロシアの社会と文化, 中央ユーラシアの社会と文化, 東欧の社会と文化
アイヌ・先住民学	アイヌ・先住民学	教授 加藤 博文 准教授 落合 研一 准教授 北原 次郎太 准教授 丹菊 逸治 准教授 長沼 正樹 准教授 蓑島 栄紀 准教授 山崎 幸治 助教 近藤 祉秋	アイヌ・先住民に関する文化人類学, 言語学, 考古学, 歴史学, 博物館学, 文化遺産学

人間科学専攻

講 座	研 究 室	教 員	専 門 分 野
心理学	心理学	教授 安達 真由美 教授 川端 康弘 教授 田山 忠行 教授 和田 博美 准教授 小川 健二 准教授 河原 純一郎 助教 森本 琢	認知心理学, 認知科学, 実験心理学, 音楽心理学, 視覚科学, 発達神経行動毒性学, 認知神経科学, 認知行動科学
行動科学	行動科学	教授 大沼 進 教授 結城 雅樹 准教授 高橋 泰城 准教授 高橋 伸幸 准教授 瀧本 彩加 准教授 竹澤 正哲 助教 中島 晃	行動科学(社会心理学, 文化心理学, 環境心理学, 進化心理学, 行動経済学, 比較認知科学など)
社会学	社会学	教授 櫻井 義秀 教授 平澤 和司 准教授 ホメリヒ カローラ	社会学
地域科学	地域科学	教授 池田 透 教授 橋本 雄一 教授 宮内 泰介 准教授 笹岡 正俊 准教授 仁平 尊明 助教 立澤 史郎	社会学, 社会生態学, 人文地理学

※本表は、平成31年4月1日に文学院に在籍する予定の教員の一覧であり、記載内容は変更となる場合があります。

※助教は指導教員を担当できません。

別記2

・出願資格審査

「2. 出願資格」の(7)(8)(社会人特別入試は(7)(10))…修士の学位を有していない者に対する個別の資格審査…により出願しようとする場合

(1) 提出書類

- ①受験資格審査願(本学院所定の用紙, 申し出により交付する。)
- ②入学願書
- ③最終学校の卒業証明書, 成績証明書
- ④最終学校卒業後の学習歴, 実務経験等を2,000字以内で述べたもの。
- ⑤最終学校卒業後の学習歴, 実務経験を証明できるもの。
例: 教育機関の在学証明書, 成績証明書
研究機関の在職証明書又はこれに代わるもの。
出版物, 講演会発表要旨
- ⑥返信用封筒(出願資格通知用)
封筒(長形3号)に申請者の郵便番号・住所・氏名を明記し, 362円分の切手を貼付したもの。

(2) 提出期限

平成30年11月16日(金)

(3) 審査基準

次のア, イの両方の条件を満たす者に, 出願資格を与える。

- ア 客観的に証明できる学習歴, 実務経験を有し, それらの年数と本人の受けた学校教育の年数を合算し, 18年以上となること。
- イ 修士学位論文に相当する学習・研究成果をあげていること。

北海道大学大学院文学院

〒060-0810 札幌市北区北 10 条西 7 丁目
011-706-3005, 3004 (教務担当)

<http://www.let.hokudai.ac.jp/>